

- ◆労働者使い捨て 働くルールの規制緩和と対署名スタート
- ◆「安倍雇用改革」の危険な内容
- ◆JMIU リレーストライキ
- ◆加盟組合紹介：JMIU コーエープラス支部

労働者使い捨て 働くルールの規制緩和

労働者はモノじゃない！
私たちは人間です。

★署名(下記参照)
行動スタート。
みんなで多くの署名を集めましょう。

安倍首相の演説には「過労死防止」「賃上げ」「女性や若者の活躍」という言葉が並びますが、具体的な政策は真逆です。「残業代ゼロ」制度で長時間労働を進め、リストラの推奨と派遣労働自由化で雇用の流動化を進めようとするなど、ブラック企業を喜ばせ、雇用と地域経済を痛めつけるものばかり。
「悪政やめろ！」と声をあげましょう。

読んでみてください。切実な要求ばかりです。

署名【請願項目】

1. 「労働時間規制の適用除外の新制度の導入」や「裁量労働制の対象拡大・手続き緩和」は行わず、
 - ①時間外労働の上限規制強化に向け、当面「限度基準」を法律化し、36協定の特別条項は廃止すること。
 - ②勤務の終了と開始の間に11時間以上の間隔をおく「勤務間インターバル制度」を導入すること。
 - ③夜勤交替制労働は社会に必要不可欠な事業に限り認め、法定労働時間を日勤労働者より短くすること。
2. 「正社員ゼロ・生涯派遣」につながる規制緩和は行わず、労働者派遣法を改正して、「均等待遇」と「臨時的・一時的な業務への限定」を明記すること。
3. 解雇の金銭解決制度など、解雇しやすい仕組みづくりは行わず、整理解雇の4要件を法律化するなど、解雇規制を強化すること。

「安倍雇用改革」の危険な内容

- リストラ首切りに助成金
- 派遣労働の全面解禁
- 残業代ゼロで長時間労働
- クビきり自由
- 解雇しやすく低賃金の限定正社員

裏面に続く

ご存知でしたか？ 内部留保の異常

★国家予算の3年分にもなる大企業の内部留保。麻生財務相も「まだお金をためたいなんて、単なる守銭奴に過ぎない」と。大企業の内部留保は社会的還元を。



大幅賃金UPで くらしに春を

JMIUリレーストライキ

3月5日(木)、JMIU 第一次リレーストライキが実行されました。4日に出された低額回答に対し、怒りを込め、生活を守るため組合員が決起しました。

各支部のスト集会では、安倍政権が今国会で成立をねらう労働法制改悪断固阻止の職場決議も行いました。長野労連は、加盟組織のコーエープラス支部とともに北信コースを回りました。各支部で、他の支援参加組織とともに激励と連帯の訴えを行いました。



JMIU コシナ支部(中野市):会社に向け怒りのシュプレヒコール

加盟組合紹介

JMIUコーエープラス支部

みんなで力を合わせれば社会は変わる



私達JMIUコーエープラス支部は、結成から2年7ヶ月、組合員5人の小さな組合です。一五春闘では従業員全員にアンケートやJMIUのピラを配布したり、会社の休憩室に組合の掲示板を設置したりして、多くの従業員の皆さんが春闘に興味を持ってもらえるように努めています。また、先日は長野県金属機械労働組合懇談会に参加してきました。

「みんなで力を合わせれば社会は変わる」というスローガンのもと、日本共産党県委員会若者雇用対策室長の唐沢千明さんとJMIU中央本部書記次長の笠瀬隆司さんを講師にお迎えし、『はたらく人がおかれた現状とその背景にあるもの』『労働法制改悪について』の二つのテーマについて懇談をしました。

参加組合からはそれぞれの組合の現状や春闘の取り組みについて活発な意見交換があり、たいへん勉強になりました。

私達の組合の今年度の目標でもある組織拡大についても、春闘をきっかけに職場での対話を増やし要求実現に向けて一緒に闘う仲間を一人でも増やすことができよう、今後さまざまなことと取り組んでいきたいと思っています。

執行委員長
新井 佐千代